

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 2024年 11月 30日

事業所名 まなびの森キラリ武蔵中原 保護者等数(児童数 30(家庭数 28)回収数 17 割合 60%

	チェック項目	保護者等数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	3	0	0	・もう少し広くともとも思いますが…構造上仕方ないと思います。 ・参加人数に依る。 ・まだ定期通所しはじめたばかりなので、わからない部分が多いです。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	2	・適切とは思いますが無知ですみません。 ・利用日に何人の児童がいて、何人の先生がいるのか分からないから。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	4	・机上遊びは特に分かりやすくなっていると感じます。 ・使える玩具は見えるようにし、使えない玩具を見えないようにしている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	0	0	2	・お部屋がキレイです。 ・お部屋は見学以降行っていないので分かりません。	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	12	0	0	5	・通所することで成長が見られていると思います。 ・チェック項目内容が少し分かりにくいです。 ・月1回の面談で、保護者からのニーズに対して細かく修正しながら対応して下さっていてありがたいです。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	8	・難しいお話しなのでお任せ致します。 ・チェック項目の内容として、設定が適切に行われているかどうかの是非を判断できるほどの知識がありません。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13	1	0	3	・リュックを背負う、おトイレの訓練、言葉の訓練など満足しています。	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	16	0	0	1	・多少同じプログラムであっても成長を見るのに必要と考えます。 ・いろいろな活動をして下さっているのを実感しています。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	1	2	3	・系列園に通っているのだから不要	
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2	0	0	・説明につき理解できたと思います。 ・区役所での手続きや書類について等、詳しい説明があると尚良いです。	・不明な点などあればお声掛けください。	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	10	0	3	4	・児童発達支援計画とは？月一回の面談にて様子を写真を見ながらご説明いただくので計画書？は不要 ・難しいお話しなのでお任せ致します。		
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	7	4	3	3	・家ですべきことがあれば教えて頂きたいです。 ・毎月の先生のお話の中で勉強となる部分ばかりで家でも真似させて頂いています。 ・家の接し方も教えて頂けると助かります。 ・面談の際にアドバイスをいただいた。	・困っていること、心配なことがありましたら、いつでもお声掛けください。	

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	15	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらかと言えば「はい」です。 ・他の利用者のお子様との関わりも教えて下さり、成長を感じます。 ・月一回の面談で細かく教えて下さっています。 	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	1	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談に行けない時もあります。 ・定期的に面談時間を設けて下さるのはキラリだけなので、とても感謝しています。 ・毎月の面談の時間がとてもありがたいです。 	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	3	9	2	<ul style="list-style-type: none"> ・不要 ・短時間で利用の為、特に求めていません。 ・まだその機会はうすいと思います。ですが、忙しいので… ・保護者会があるかないかはあまり療育において必要不可欠とは思っていません。その時間を今までのように子どもとの関わりにあてて欲しいです。 	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・相談をしたことがない為分かりません。(面談で解決) ・文章内容がよく分からずすみません。 	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方が気さくで話しやすいです。 	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	5	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・不要 ・ホームページを見る習慣がない為、分かりません。 ・会報、ホームページを未だ見れておりません。 	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし 	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	0	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・園内ではされているかと思われる。 ・あまり機会があるように思われない。 ・保育園全体で行っている認識です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練が行われた場合には、お便りや面談などで参加した旨お伝えします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・園内ではされているかと思われる。 ・一度お聞きしたような… 	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみにしているように感じます。 ・過剰に表現している訳ではなく本当に毎日「今日はキラリの先生いる？」と聞いています。子の心の中に大切な場所としてあるのだと思います。 ・楽しそうに通っています。いつもありがとうございます。 	<p>お子様たちの「キラリが大好き」という言葉が、職員の励みになっています。楽しいことばかりでなく、苦しいことにも向き合い頑張っています。これからも「からだ」「あたま」「こころ」の成長に繋がる楽しい活動を考えて参ります。</p>
	23	事業所の支援に満足しているか	16	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家でできないことを沢山いただいています。 ・本当に良くして頂いて感謝しかありません。唯一子どものことを相談して、頼れる場所だと思っています。スタッフの方々には無理なく働いて頂けたら願うばかりです。 ・とても満足しています。 	<p>キラリの活動にご理解とご協力をいただき、いつもありがとうございます。お子様たちの成長をご家族の皆様と一緒に見守らせていただけること大変感謝しております。今後ともよろしくお願いたします。</p>

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。